

# 国立大学病院インターネット会議システム

(UMICS=University hospital Medical Internet Conference System)

## 1. 大学病院の使命・インターネット会議システム導入の背景

国立大学附属病院長会議常置委員長

千葉大学医学部附属病院長

河野陽一

## 2. インターネット会議システム導入の経緯

国立大学附属病院長会議インターネット会議システム検討会座長

東京大学医学部附属病院事務部長

櫛山 博

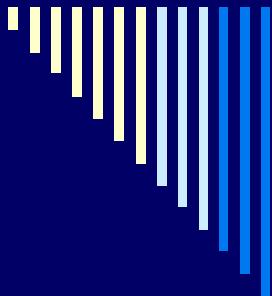
## 3. システム仕様・運用方針

国立大学附属病院長会議大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)協議会事務局長

東京大学医学部附属病院大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)研究センター教授

木内貴弘

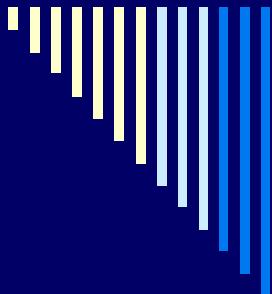
## 4. デモンストレーション（本会場 ⇄ 熊本大学医学部附属病院）



# 1. 大学病院の使命・インター ネット会議システム導入の背景

国立大学附属病院長会議常置委員長  
千葉大学医学部附属病院長

河野陽一



# 大学病院の使命

## 診療

- 高度医療の実践
- 地域医療の支援

## 教育・研修

- 学部学生・大学院生教育
- 臨床研修の実施、地域臨床研修の支援

## 研究

- 研究の実施
- 研究発表



# 導入の背景 —各種会議、講演等の必要性

## 診療

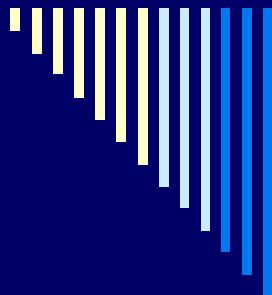
- 最新の診療情報の講演
- 地域連携のクリニカルカンファレンス
- 病院運営管理・医療安全・感染制御等に関する相互交流

## 教育・研修

- 遠隔講義・遠隔講演
- 地域研修医への個別支援等

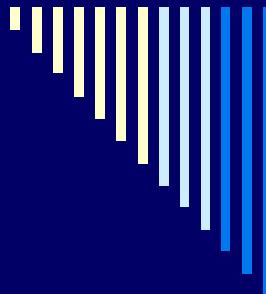
## 研究

- 最新の研究成果の講演
- 共同研究、治験等の打ち合わせ



# 導入の背景 —インターネット会議導入の意義

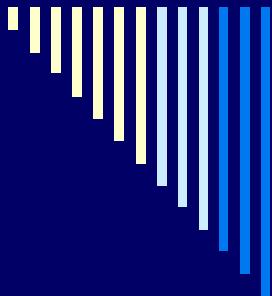
- 国からの運営費交付金の削減  
⇒各種会議、講演等の効率的実施  
(移動時間、旅費の節約)
- 国立大学病院標準のインターネット会議システムの必要性  
⇒相互運用、使い方の習得が容易に  
(各大学病院個別に導入して、5, 6種類以上のシステムが  
混在したら、共同利用は困難)



## 2. インターネット会議システム 導入の経緯

国立大学附属病院長会議インターネット会議システム検討会座長  
東京大学医学部附属病院事務部長

櫛山 博



# 導入の経緯

平成18年 6月23日(金)

国立大学附属病院長会議常置委員会

(インターネット会議システム検討会の設置を決定)

平成18年10月 3日(火)

第1回インターネット会議システム検討会

(導入検討方針の策定)

平成18年11月 7日(水)

第2回インターネット会議システム検討会

(各ベンダーのプレゼンテーション)

平成19年 5月10日(水)

第3回インターネット会議システム検討会

(各ベンダーによるデモンストレーション)

平成19年11月 7日(水)

第4回インターネット会議システム検討会

(仕様書の策定)

平成19年12月14日(金)

国立大学附属病院長会議常置委員会

(インターネット会議システム導入の正式決定)

平成19年 2月22日(金)

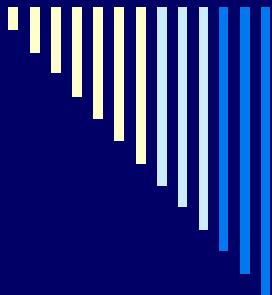
入れによりエイネット社Fresh Voice採用を決定

平成20年 3月27日(木)

Fresh Voiceを東大病院UMINセンターに設置・試験運用開始

平成20年 6月16日(月)

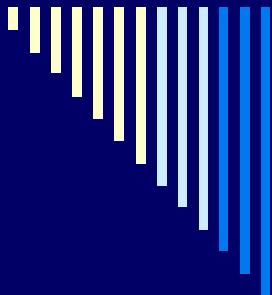
国立大学病院インターネット会議システム正式稼動開始



### 3. システム仕様・運用方針

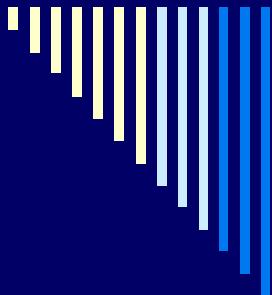
国立大学附属病院長会議大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)協議会事務局長  
東京大学医学部附属病院大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)研究センター教授

木内貴弘



# システム仕様・運用方針の概要

- 国立大学病院以外の医療機関、民間企業の利用
- 無制限クライアントライセンス
- 利用増加時の対応
- ファイアウォール対策
- セキュリティ対策

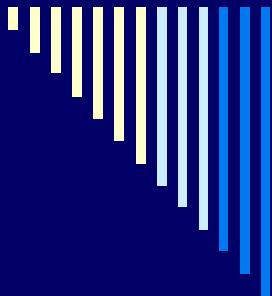


# 国立大学病院以外の 医療機関、民間企業の利用

- 国立大学病院が1つでも参加していること。
- 国立大学病院の業務(診療、教育・研修、研究、病院運営管理等)の範囲であること。

(例)

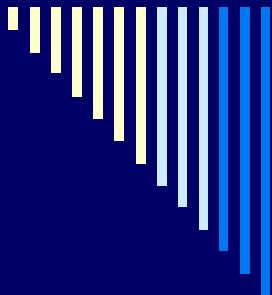
- A大学病院と連携する5つの地域医療機関との合同カンファレンス
- B大学病院とP製薬との治験の打ち合わせ



## 無制限クライアントライセンス

- 利用する可能性のある組織は、非常に多い。  
(一般医療機関、企業等を含む)
- 利用するたびにライセンスを供与するのは面倒。
  - 接続可能なクライアント数無制限を要件

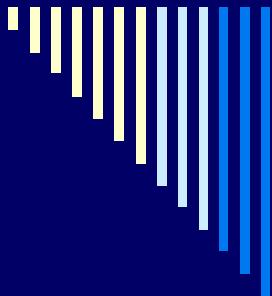




## 利用者増加の時の対応

□ 各大学病院で、インターネット会議システムを追加導入

各大学病院で、今後5年間UMINと同じ条件  
(価格、仕様)で1台づつ追加購入できることを要件

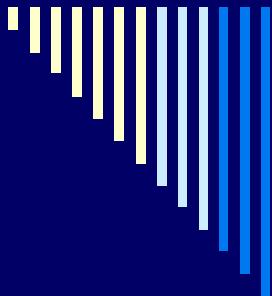


# ファイアウォール対策

□ SSL-HTTP(Web)による通信

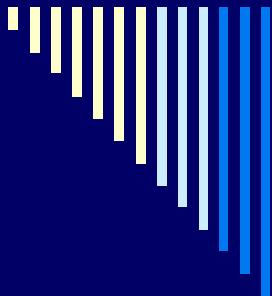


□ SSL-HTTP(Web)が使えれば、通信可能



## セキュリティ対策

- 全通信の暗号化
- 暗号鍵長 128ビット



# まとめ

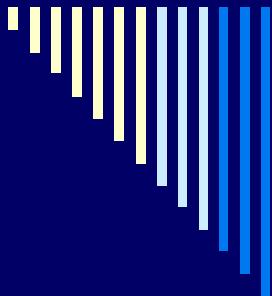
- 利用条件をかなり広げて、大学病院を中心にインターネット会議を全国的に利用促進



- 大学病院運営の効率化  
(移動時間、旅費の削減)

- 大学病院の診療、教育・研修、  
研究、運営管理に関する  
コミュニケーションの推進

- 医療分野のインターネット会議を  
活用したコミュニケーションの推進



## 4. デモンストレーション

本会場 ⇄ 熊本大学医学部附属病院

熊本大学医学部附属病院長  
倉津 純一

熊本大学医学部附属病院事務部総務・企画課長  
黒原 敏博

熊本大学医学部附属病院事務部経営・管理課長  
島田 正俊

熊本大学医学部附属病院事務部病院経営担当専門職  
増村 隆之